

# しがはち便り

## 精神科病院でも、床ずれが治せる



診療副部長  
院内褥瘡対策委員会  
医師 山路 力

### ・褥瘡 (床ずれ) とは

日本褥瘡学会によると、「褥瘡とは、身体に加わった外力（圧迫やずれ）によって、皮膚および皮下組織、時に筋肉や骨にまで及ぶ局所的な組織損傷である」と定義されています。以前の定義は、骨突出部に限定されるものでしたが、現在は、身体の一部に圧力がかかればどの場所でも生じるものと定義が広く表現されるようになりました。現在は、医療関連機器褥瘡(MDRPU: Medical Device Related Pulse Ulcer)もトピックとなっています。**原因は、「細胞に圧力がかかり過ぎると、細胞が潰れてしまう」**ことをイメージしていただくとわかりやすいと思います。



### ・滋賀八幡病院における褥瘡治療の歴史

当院は精神科専門病院で、皮膚科の医師が在籍しておらず、以前は治療が後手に回る場合もありました。また、患者さんの高齢化や、認知症患者さんの増加と共に、院内での褥瘡治療の必要性が非常に高まりました。**ヴォーリズ記念病院の五月女院長の御厚意もあり、2024年9月～2025年3月に日本褥瘡学会・認定褥瘡医師で同院褥瘡外来ご担当の北野 晴久先生が非常勤で勤務して下さいました。**この間、精神科医の山路を始め、看護師・看護助手に、様々なご教授を賜りました。その結果、毎週褥瘡回診にて、剪刀（セントウ；ハサミ形状の器具）と鑷子（セッシ；ピンセット形状の器具）を用いた外科的デブリードマン（壊死組織の物理的除去）を山路が行い、軟膏充填やフィルムドレッシングを、看護師が行う**チーム医療の体制を確立**することができました。



年間治癒件数（2023～2025年）は、6件→13件→48件と飛躍的に増加しております。



### ・創部が10cm以上の重症の方や、10年以上治癒しなかった方が治っていく

北野先生から学ばせて頂いた、所謂フルタメソッドに準拠した薬剤選択、フィルムドレッシング、デブリードマンの方法、ポジショニング、シーティング、栄養評価などを多職種連携により実践することで、創部の長径が10cm以上の最重症の方であっても、重度の認知症の方であっても、毎週褥瘡が改善していく方々がどんどん増えていきました。中には、10年以上治癒しきれなかった方が、約半年後にはほぼ治癒の状況にまで回復されました。大量の膿が溜まっていた認知症の患者さんであっても、数ヶ月後には完治されました。褥瘡の場所が、肛門の近くや背中、踵のどこであっても治ります。**褥瘡の痛みから開放されて、お話しがしやすくなり、また、食事の量が増える**患者さんもおられます。

最近では毎週15名前後の患者さんの治療を継続しています。



・裏面へ続きます

## ・褥瘡治療・予防に大切なこと

十分な栄養を摂ること、定期的に体の向きを変えること、皮膚をきれいな状態に保つことが特に重要です。高血圧や糖尿病の治療も、良好な組織血流を維持するのに重要です。

これからも精神科病院だからといって、できない理由を並べるのではなく、「**どのような工夫が可能か**」を考えながら、**チーム医療の向上に努めてまいります**。褥瘡を合併されている認知症の方でも、**当院では治療可能**です。お気軽に当院までご相談ください。



## 患者総合支援室より活動報告



患者総合支援室副室長  
北村 誠

皆様こんにちは。患者総合支援室副室長の北村と申します。

当支援室は令和5年6月より本稼働し、早や2年8ヶ月が経過しようとしています。患者様・ご家族様・地域の方々のために、切れ目のない質の高い支援が提供できるように各部門の多職種と連携し活動を行い、又サービスや満足度の向上に向けても日々取り組んでいます。前回内容に引き続き、今回も活動の一部を紹介させていただきます。



院内でも、少しでも季節を感じて頂くように、四季折々の創作展示を行っております。

外来・入院患者様やご家族様など、病院正面入口や外来待合室からも観賞できるようにしております。今回は、1階外来正面入り口付近に【お正月】・【節分・梅の花・ウグイス】に関連した展示を行いました。

患者総合支援室メンバーや精神科デイケア室利用者にも協力を得て、色画用紙や折り紙等を使用し展示を行いました。特に精神科デイケア室の利用者の方で大変工作に詳しい方がおられ、毎月徐々にグレードアップしたものになっています。外来患者さまやそのご家族さまも写真を撮られる方も多くございます。

院外関係者から「広報誌を見て展示を見に行きました」の言葉や「次は何を展示されるのか」など聞かれることもしばしばございます。大変興味を持って頂きうれしく思います。

今後も、院内でも「ゆっくり落ち着いた癒しの空間」が提供できる様に活動を通じて更にサービス、満足度向上に深めていきます。

中庭の手入れも行い、本年度も、時期に応じた花を植え、その成長する姿や美しさを感じていただければと考えております。精神科療養病棟のレクリエーションの活動の一環にもなっており「ほっとした空間」が提供できるように活動を深めていきます。来院時には是非、楽しんで頂ければ幸いです。



## 令和8年、野球部の体制をお知らせします。



この度、監督を退任し、新たに部長に就任する事となりました。在任中は多くの方々に支えて頂き厚くお礼申し上げます。チーム監督、また滋賀県代表監督としての10年間の経験と、選手たちが野球に留まらず、人としての成長を近くで見守る事が出来た時間は、私にとってかけがえのない財産です。共に喜び、共に悔しかった日々は忘れる事はないでしょう。

新役職として戸惑うこともあります。青樹会野球部への情熱は変わることなく尽力する所存です。

今後とも、よろしくお願いいたします。

青樹会野球部 部長:西田 幸司

昭和30年代、職員の人材確保および人材育成、職場の活性化を目的として創部され、以降、医療従事者として勤務しながらも野球が続けられることをアピールし、野球を通じて人間形成を図り職場や地域に貢献することを念頭に活動しています。部員は、看護職や事務職で医療従事者として活躍する者、また看護資格修得のために勉学に励む者など様々ですが、けじめある生活と野球への情熱を維持し、患者様や病院職員にとって「元気の源」となり、病院内外の活性化に繋がるように日々活動しています。

今後、活動していくにあたり、活動期間中に病院を守って下さっている職員への敬意、野球が出来る環境を与えて頂き、支援して頂いている多くの方々への感謝の気持ちを胸に、更に上を見据えた企業スポーツのあり方を追求し、患者様や地域の方々、病院職員の誇りとなり愛されるチームとなるよう努力して参ります。

ご声援を何卒よろしくお願いいたします。

青樹会野球部  
監督 大槻章太

代表:理事長 大島正義 部長:総務課 西田幸司 監督:医事課 大槻章太

## 「マイナ保険証」利用されていますか？

各種健康保険証の利用について、令和7年12月2日から「マイナンバーカード（個人番号カード）」を使った仕組み（いわゆる「マイナ保険証」）を基本とする形態へ完全移行しました。「マイナ保険証」を利用していない場合は、保険者が発行する「資格確認書」が健康保険証の代わりとなりますが、令和8年3月末までは暫定措置として旧来の健康保険証でも保険資格の確認は可能となっています。

当院でもマイナ保険証利用を推奨しています。

外来患者様の「マイナ保険証」利用状況としては…

令和7年11月利用：44.3% ⇒ 令和7年12月利用：57.5%と導入当初の利用は少なかったですが、徐々に多くの方にご利用いただいています。

また、当院ではスマートフォンによるマイナ保険証の利用も可能となりました。スマートフォンは持ち歩く方が多いため、カード本体を持ち歩くより利便性が高いのではないかと思います。

「マイナ保険証」利用により当院で行う保険情報の取り込みは安全かつ容易となりました。

今後、すべての保険情報が「マイナ保険証」より安全・確実に読み取れるようになることが理想ですが、患者様自身も安心して「マイナ保険証」を利用できる事を期待したいです。

医事課 主任  
井上 志織

従来の健康保険証の有効期限は終了しました



受付時は、  
マイナ保険証が  
資格確認書を  
ご提示ください。



# 認知症疾患医療センターおうみのご紹介。

認知症疾患医療センター おうみは、認知症の早期発見、早期治療を目指し、認知症に関する専門医療相談や認知症の鑑別診断を行っています。「認知症かな?」と思ったらまずはご相談ください。

専門医療相談員がご本人の様子をお伺いし、必要に応じて鑑別診断のための検査・診察の調整をいたします。診察では検査結果やご本人との面談、ご家族の情報などから認知症かどうかを診断し、結果を説明いたします。

※鑑別結果はかかりつけ医にもお知らせしますので、通い慣れた診療所や開業医、病院で治療を継続することが出来ます。



- ➡ 相談日 月～金曜日  
(土日・祭日・年末年始除く)
- ➡ 相談時間 9:00～16:00
- ➡ 相談方法 来院・面談・電話相談
- ➡ 直通番号 0748-33-7106

	月	火	水	木	金	土
1 診		青木	濱名	青木	濱名	齋藤 (第1.3.5週)
2 診	山路	山柁	山路	齋藤	山柁	佐藤 (第2・4週)
3 診	佐藤	山本	齋藤	河合 佃	佐藤	石倉
4 診	河合	吉川	廣田	青木(宣)	吉川	交代制
5 診	—	—	—	—	栴井 有田	—
内科	—	—	今村	—	鈴木 (総診)	—
循環器	—	—	—	—	—	蘆原

外来診療は基本予約制です。事前にお電話でご確認ください。

※緊急診察はこの限りではありません。

- ・診療時間：午前9時 ～ 午後5時
- ・診療日：月曜日～土曜日 土曜日は平常通り診療しております。
- ・休診：日曜 祝祭日 年末年始 (12/29～1/3)



☆その他の情報は上のコードから  
当院ホームページをご覧ください☆

令和8年2月吉日 発行

発行者 公益財団法人青樹会 編集者 公益財団法人青樹会 広報委員会  
連絡先 広報室 代表番号 0748-33-7101